



2018年2月15日

株式会社 リクルート ライフスタイル

食べきれない料理を持ち帰って「食品ロス」削減に貢献 『ホットペッパーグルメ』と横浜市の共同企画 「シェアバッグ「おいしい」と「もったいない」をシェアしよう。」 横浜市の約100店舗にて2月22日より開始

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）が運営する、ネット予約利用者数No.1（※）の飲食店予約・グルメ情報サイト『ホットペッパーグルメ』（<https://www.hotpepper.jp/>）は、横浜市と共同で「食品ロス」削減のため、食べきれない料理を持ち帰るための「シェアバッグ」利用を促進する企画を、2018年2月22日（木）～4月30日（月）の期間に実施することをお知らせします。

※2017年6月調査時点（株）東京商工リサーチ調べ

特設サイト：<https://www.hotpepper.jp/doc/sharebag/>

企画概要

国内での「食品ロス」は年間621万トン（※）と言われており、「食品ロス削減国民運動」の展開など官民での「食品ロス」削減の取り組みが広がっています。飲食店における「食品ロス」削減の動きも活発になっており、消費者への啓発活動が重要視されています。『ホットペッパーグルメ』は2000年にクーポンマガジン『HOT PEPPER』を創刊して以来、多くの飲食店と関わってきましたが、近年、飲食店から「食べ残しをする人がいて、作ったのにもったいない」「おいしく食べてほしいと一生懸命作ったのに、もったいないと感じる」など、「食品ロス」に関する声を聞くことが増えました。そこで、全国の市区町村の中でも先駆けて「食品ロス」に関する取り組みを行っている横浜市と共同で、食べきれない料理を持ち帰るための「シェアバッグ」（持ち帰り用のボックスと紙袋）を配布する『シェアバッグ「おいしい」と「もったいない」をシェアしよう。』の実施を決定しました。

※農林水産省ホームページより



イメージ画像



企画名称：シェアバッグ「おいしい」と「もったいない」をシェアしよう。

共催：『ホットペッパーグルメ』、横浜市

実施期間：2018年2月22日（木）～4月30日（月）※「シェアバッグ」がなくなり次第終了（各店舗200セット）

参画店舗：約100店舗 実施エリア：横浜市西区・中区・神奈川区エリア

企画の特徴：

「食品ロス」削減を目的に、食べきれない料理を持ち帰ることができる「シェアバッグ」（持ち帰り用のボックスと紙袋）を横浜市内の参画飲食店約100店で希望者に無料配布。『ホットペッパーグルメ』は、「シェアバッグ」制作や、飲食店へのご提案、特設ページの制作・運営、広報活動などを行います。横浜市は、関連飲食店への呼びかけや、市民の皆様への広報を行います。

コンセプト：

世界、そして日本でも深刻な「食品ロス」問題。日本の一人当たりの「食品ロス」の量は世界でもトップクラスで、飲食店でも、食べ残しによる「食品ロス」が出ています。これまでは、飲食店でどうしても料理が残ってしまった時、持って帰りたいな・・・と思っても、持ち帰ると言い出すのは気が引けてしまう、そんな空気がありました。『みんなが「おいしい」食事を大切な人とシェアし、同時に、持ち帰りを気兼ねなくできる空気「もったいない」という意識をみんなとシェアできる。そんな世界をこのシェアバッグを通して作りたい。』との思いから「シェアバッグ」を作りました。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>